

2014年5月14日

日本ガス協会 尾崎会長 会見発言要旨

<エネルギー基本計画>

天然ガスが「各分野における天然ガスシフトが進行する見通しであることから、その役割を拡大していく重要なエネルギー源」と位置づけられたことは、天然ガスの普及促進に努めてきた都市ガス業界としてもこれからの責務を重く受け止めている。

日本ガス協会は、2011年10月に「ガスビジョン2030」を発表し、2030年に目指すべき姿を示した。この目指すべき姿に向かって天然ガスシフトが進めば、一次エネルギーに占める都市ガスの比率15%、電力需要量に占めるコージェネレーションの比率15%を実現できると想定している。今回の計画では、数値の表記はされなかったが、天然ガスシフトを進めていくためにも、今後のエネルギーミックスの議論の中で、これらの比率を明確にさせていただきたいと考えている。明確にされれば、行政施策や、メーカーなど関連業界の取り組みが、より一層加速され、省エネ、省CO₂、電力需給の安定、さらには内需拡大に多大な貢献ができると考えている。

<ガスシステム改革>

ガスシステム改革の所期の目的は、

- ・新たなサービスやビジネスの創出などで天然ガスの魅力が活かされる形で利用拡大するガス市場が作りだされること
- ・そのガス市場において新たな事業者が加わり、競争環境の活性化によるお客さまメリットの向上が図られること

であると認識している。

天然ガスの魅力が活かされる形で利用拡大する取り組みの一つは、お客さま先での電源構成の多様化が図られ、電力需給の安定に貢献できるなど、さまざまな社会的意義のあるコージェネレーションや燃料電池（エネファーム）の普及である。

普及促進のためには、エネルギー基本計画でも、「燃料電池を含むコージェネレーションにより発電される電気の取引の円滑化などの具体化に向けて検討する」と記載されていることを踏まえて、電力システム改革で進められている詳細設計において、ガスで発電された電気が適正な価格で流通しやすいしくみがつくられていくことが重要だと考えている。

今後進むガスシステム改革の議論の中で、このような重要な点に加え、公正・公平なエネルギー間の競争環境が整備されるとともに、安定かつ安全なガスの供給を損なわない改革となるよう引き続き積極的に議論に関わっていきたいと考えている。

<昨年度の活動の振り返り>

2013年度の全国ガス販売量については、家庭用が気温の影響などで減少したが、新規需要開発が進んだ工業用が牽引する形で、約367億m³となり3年連続で過去最高を記録した。

取り組みの一例として、家庭用燃料電池（エネファーム）については、住宅業界・機器メーカーなど関連業界と一体となった「エネファームパートナーズ」を昨年5月に設立し、普及推進してきた。その結果、公的な導入支援補助の後押しもあり、今年3月末までの累計普及台数は、前年度比1.8倍の約7万7千台に達した。

また、ガス事業の基盤となる保安については、国が定めた2020年の死亡事故ゼロを目指す安全高度化指標を達成するために、都市ガス業界として策定した「保安向上計画2020」を着実に進めている。

<今年度の事業計画>

これまでガス事業者は低廉かつ安定的な都市ガスの供給を行い、お客さまに熱を提供することを事業の中心としていたが、今後は単に熱利用のためだけに都市ガスを供給するのではなく、コージェネレーションやエネファームなどにより様々なエネルギーの供給を行い、お客さまや地域の特性に即したニーズに対して、ベストなソリューションを提供する「総合エネルギー企業」へと進化していかなければならない。

そうした考えのもと、今年度は、ガスビジョン2030の達成に向けて、「幅広いお客さまメリット向上をめざし、地域に根ざした「総合エネルギー企業」へと歩を進める」をスローガンとし、活動を進めていく。

事業計画の柱は、以下の4点である。

- ① ガスシステム改革への的確な対応
- ② 天然ガスシフトへの取り組み
- ③ 経営基盤強化のための支援の拡充
- ④ 安全・安心のさらなるレベルアップ

①については、改革の方向性が所期の目的に適うものになっているか、議論の進捗にあわせて適宜対応していく。②については、天然ガスの普及促進の支援策などの拡充を図っていく。③に関しては、日本ガス協会では、過去からガス事業者に対して保安や安全に関する基準をつくり、保安レベルの向上を図るなど、さまざまな支援を行ってきた。今年度は、「経営支援室」を設置し、ガス事業者が総合エネルギー企業化を目指すにあたり、地域特性にあわせた事業モデルの情報提供など支援を行っていく。④については、地震・防災対策や、消費者への安全向上を目指した周知活動など「保安向上計画2020」の着実な推進を図っていく。

<おわりに>

都市ガス業界は、社会の期待やエネルギー事業者の責務に十分に答えられるよう業界全体が一丸となってさらなるレベルアップを図り、今後ともお客さまに選ばれ続け、「ガスビジョン2030」の達成を通じて、「エネルギー基本計画」に定められた天然ガスシフトの実現に大きく貢献していきたい。

以 上